

高山市(岐阜県)の一体的実施

平成23年11月1日事業開始

市役所(支所)を利用してハローワークが定期的に巡回相談を実施。さらに、市とハローワークが連携して、市役所(本庁舎)における職業紹介等を実施。

市

市役所(支所)の庁舎の提供、生活相談、職業相談の実施等



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・市内9カ所の市役所の支所で、定期巡回による職業紹介や職業相談を実施
- ・本庁舎内の「ワークサロンたかやま」で、職業紹介や職業相談を実施
- ・ミニ面談会の実施

② 協定・事業計画

- ・高山市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を高山市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・高山市、岐阜労働局、高山公共職業安定所をメンバーとする運営協議会を設置



全国の市町村で最も面積が大きくハローワークまでの距離が遠い地域もあるため、市の支所を利用した巡回相談により、市民に近い場所で職業紹介の実施を実現。市役所本庁において、市の生活相談等とハローワークの職業紹介等による、市民へのワンストップのサービス提供が実現。



(1) 実施体制

高山市

- ・ 職員 1 名を配置

国（ハローワーク高山）

- ・ 就職支援ナビゲーター1名を配置
- ・ 相談員2名を配置
- ・ 求人情報提供用のタブレット1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(8年度)

	事業目標(年度)	取組状況(8年8月末時点)	
市の支所を利用した巡回相談の実施(9箇所)	◇3つの事業の合計	◇8年4月～8年8月実績 ・利用者数 210名 ・相談件数 188件 ・就職件数 46件	(参考)7年8月実績 251名 239件 55件
市役所の本庁舎内の「ワークサロンたかやま」での職業紹介の実施	・利用者数:8,500名 ・相談件数:3,300件 ・就職件数: 410件 ・就職率 : 40.0%	◇8年4月～8年8月実績 ・利用者数 2,859名 ・相談件数 962件 ・就職件数 122件	(参考)7年8月実績 3,383名 1,160件 106件
ミニ面談会の開催 合同企業説明会	(参考)7年度目標 ・利用者数:8,800名 ・相談件数:3,600件 ・就職件数: 450件 ・就職率 : 40.0%	◇8年4月～8年8月実績 開催回数 ミニ面談会2回・就職面談会1回・ 合同企業説明会1回 ・参加企業 28社 ・参加者数 274名 ・相談件数 91件 ・就職件数 28件	(参考)7年8月実績 ・利用者数:3,343名 ・相談件数:1,241件 ・就職件数: 196件 ・就職率 : 64.8%
		(参考)7年8月実績 ・参加企業 120社 ・参加者数 205名 ・相談件数 179件 ・就職件数 20件	(参考)7年8月実績 ・利用者数:3,839名 ・相談件数:1,578件 ・就職件数: 181件 ・就職率 : 52.6%

一体的実施事業（高山市）による就職成功例

男性：60歳代半ば 希望職種：配達業務

○ ワークサロン相談を利用した理由

・自営にて配達の仕事をしているが、販売元の業務縮小により収入が減少し生活が苦しくなったことから、以前ワークサロンを利用した妻より紹介されて来所。

① 抱える課題

・自営での業務は週2日程度となり、収入は大幅に減少。自営を続けながら収入増を図りたく、Wワークでの就労を経験ある配達業務で検討するも希望条件に見合う求人がない状況。

② 支援内容・ポイント・経過

・自営を続けながらのWワークと高年齢でもあることから、希望条件に見合う求人がなく、配達関係以外の職種についても検討を促す。傾聴を続ける中で、本人は運転業務全般に興味があることに気づき、送迎業務に関する求人を検索。
・介護施設での送迎業務を提案するも、介護補助業務を兼ねており、また、未経験で腕の痛みもあることから不調。
・介護施設以外での送迎業務を求人検索し、児童の送迎バス運転業務の求人を提案。朝夕のみの勤務で中抜けができることからWワークも支障がないことを確認。自営継続も見込まれることから応募となる。長年の運転経験と、本人の柔軟な対応が評価され採用。

③ 結果 送迎バス運転手として採用。

○ 相談員の所感

・積極的に就職活動され、職種の幅を広げて検討していただけたことで、求人を案内することができました。新しい職場での活躍を期待しています。

○ 本人のコメント

・親身に相談に乗っていただき、自営と兼業できる職場に就職することができました。ありがとうございました。

女性：50歳代前半 希望職種：調理補助

○ ワークサロン相談を利用した理由

・人間関係がうまくいかず退職。市役所での諸手続の際に、ワークサロンへ立ち寄り、再就職について相談。

① 抱える課題

・調理補助や介護補助の仕事を中心に勤務していたが、職場の人間関係を理由に、短期間での離転職を繰り返していた。
・狭い地域の中で転職回数が多いため、過去に勤務経験のある事業所が多く、応募できる求人が限られている状況。
・人間関係での離職が多いことから、次の就職に向けて不安を抱えており、応募に対し慎重になっている。

② 支援内容・ポイント・経過

・希望条件（職種・各種保険加入等）を確認しながら、複数の求人を情報提供するも、過去に勤務したことのある事業所が多く応募につながらない。
・事業所担当者と直接面談ができ、仕事の内容や職場の雰囲気など詳細に情報収集できる「就職面談会」への参加を促す。
・地元企業が多数参加する「就職面談会」に興味を示し、面談会参加前に、自身のキャリアを振り返ることで経験や強みを整理するなどして応募書類作成への支援を実施。
・「就職面談会」参加。面談により不安要素を解消するとともに、担当者からの「気軽に職場見学を」の声かけにより安心感が生まれ職場見学に至る。職場見学では、現場作業の把握と職場で働く方との意見交換が不安解消と前向きな気持ちにつながり正式応募となる。

③ 結果 介護助手として採用。

相談員の所感

・事業所担当者と直接話す機会や職場見学の案内を受けたことで応募への不安が軽減され、就職につながった。

○ 本人のコメント

・人間関係で悩み自信を失いかけていましたが継続的な相談を通じて安心して応募することができました。